

東京春祭を楽しむ(14)

—ライブ配信(14)—

1. 始めに

[Web 情報紹介【2022No.39】](#)で紹介した東京春祭 22 から興味を引いたプログラムを視聴していきます。今回は、東京春祭のミュージアム・コンサートの「フェルメールと17世紀オランダ絵画展」記念コンサート vol.2 を視聴しました。



2. 東京春祭ライブ配信の試聴方法

試聴方法は下記のとおりです。

PC→UACU-700→Sonica DAC→BACU-1000→DA-3000→Brooklyn DAC+
→BACU-2000→TruPhase→BACU-2000→300B

プログラムは次のとおりです。

ミュージアム・コンサート

「フェルメールと17世紀オランダ絵画展」記念コンサート vol.2

〈ザクセン選帝侯と音楽—アウグスト1世&2世の時代〉

日時・会場

2022/3/24 [木] 14:00 開演 [13:30 配信開始]

東京都美術館講堂

出演

チェンバロ：中野振一郎

曲目

ヘンデル：組曲 ニ短調 HWV437

テレマン：《チェンバロのための6つの序曲集》より

第1番 ト短調 TWV32:5

C.ペツォールト：2つのメヌエット ト調 組曲 変ロ長調 より

W.F.バッハ：チェンバロ・ソナタ イ長調 Fk.8



3. 東京春祭ライブ配信の試聴結果

ザクセン選帝侯と音楽—アウグスト1世&2世の時代というテーマでの選曲で、解説を交えながら、ドレスデンの宮廷音楽に縁のある作曲家の作品が演奏されました。

ヘンデル、テレマン、W.F.バッハは知っていたものの、C.ペツォールトという名前は初めて耳にしましたが、組曲の一つはJ.S.バッハの作品を言われていて、聴く機会が多いものですが、実はC.ペツォールトの作品だったそうです。

これらを前報(11)の画面操作機能を活用しながら視聴していきました。

使用されたチェンバロも由緒のあるもののようで、美術館の講堂という環境ながら、しっかりと音が出ていました。

チェンバロ奏者は女性奏者が多いのですが、中野振一郎の演奏は構成がしっかりしており、ダイナミズムを感じさせるものでした。





4. まとめ

東京春祭のライブ配信の受信ができました。

以上